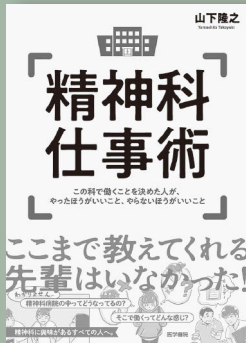


今月の 新刊紹介

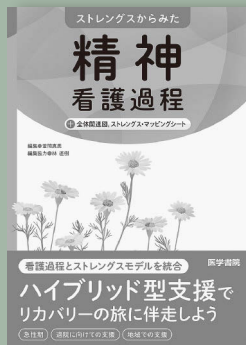


精神科仕事術

この科で働くことを決めた人が、
やったほうが良いこと、
やらないほうが良いこと

著：山下隆之
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税）
A5 判 176 ページ

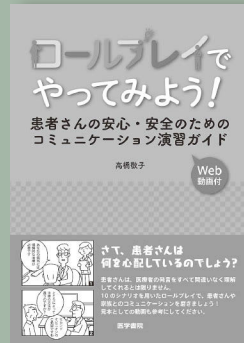
志半ばで精神科看護師を辞めていく人に心を痛めた著者が、「ここが精神科独自のケア技術、看護業務だ」と思う部分をまとめたのが本書。入職間もない時期から慣れた頃まで、経過別に「やったほうが良いこと、やらないほうが良いこと」を、その理由とともに解説する。



ストレスからみた 精神看護過程 ＋全体関連図、ストレス・ マッピングシート

編集：萱間真美，編集協力：林直樹
発行：医学書院
定価：3960 円（本体 3600 円＋税）
A5 判 496 ページ

当事者の望む「自分のなりたい姿」を目標に、当事者の考えや経験などをストレスとして活かす視点から看護過程を解説。ストレスモデル、BPS モデル、セルフケア情報も合わせたアセスメントのポイントから、看護計画の立案と実施、評価までを指南する。



ロールプレイでやってみよう！ 患者さんの安心・安全のための コミュニケーション演習ガイド

著：高橋敬子
発行：医学書院
定価：2750 円（本体 2500 円＋税）
A5 判 104 ページ

患者さんが安心して医療を受けるために必要なコミュニケーション力を、実践的なロールプレイ演習で学ぶためのテキスト。患者さんや家族の思いを理解し、医療者として伝えなければならないことを伝える 10 の場面を設定。付録の Web 動画が理解を深める手助けに。



ぼくとがんの 7 年

著：松永正訓
発行：医学書院
定価：1980 円（本体 1800 円＋税）
四六判 248 ページ

小児がん外科医が、あるとき突然膀胱がんになった。患者の痛みを知った医師はいったい何を思うのか。筆者は闘病を通じて、何度も振り返り「痛い目」にあり、死についてもじっくり考えた。深刻だけど、ときどき前向き、そしてちょっとセンチメンタルな闘病記。



周術期の臨床判断を磨く II 術式による機能変化から導く看護

著：深田順子，鎌倉やよい
発行：医学書院
定価：3740 円（本体 3400 円＋税）
B5 判 224 ページ

臨床現場で遭遇することの多い代表的な術式とその侵襲が人体に及ぼす影響を解説し、的確なケアを行うための看護診断と看護計画の立案方法を示す。切除術を受けた患者の生理的・機能的変化を踏まえた看護ができるようになる 1 冊。



日本語文章チェック事典

著：石黒圭
発行：東京堂出版
定価：1980 円（本体 1800 円＋税）
四六判 384 ページ

日本語教育の第一人者が作った、文章をチェックができる事典。語彙から文法、文体、文章の書き方まで、具体的な修正例を挙げながら確認すべきポイントとその目的を解説。知りたいことがすぐに検索できるように、「レポート向き」などのラベル付き。

看護管理に
効く
1 冊